

実戦さながらに水防訓練を実施

市町村単位では県内初

台風シーズンを前に市では七月十一日、岩木川堤防で森田市長をはじめ来賓、消防団員、消防署員など約五百人参加のもとに大規模な水防訓練を実施しました。

同訓練は、乾橋上流三百メートルの岩木川右岸を会場に、「前日夜半からの豪雨により、岩木川の水位は急激に

上昇。元町地先の堤防は危険状態にあり」との想定で行われました。

まず現地に実施部を設置し、あとは河川パトロールカーから刻々入ってくる被災情報に合わせて適切な対策を立てていきます。堤防の崩壊個所には「シート張り」というシートと縄、土のうをうまく組み合わせた

補修を、水があふれた所には「土のう積み」、漏水個所には「月の輪工」と呼ばれる土のうのダムを設置。

また、五所川原消防救助隊が、対岸に負傷して取り残された被災者の救助をゴムボートとロープを使って行うなど、各種訓練を実施しながら実施しました。最後に、同訓練の統監で

ある森田市長が「市町村単位では本市が初めてという訓練であったが、まずまずの成果を収めたと思う。私は、有事に備えて常に訓練をおこなうことが大切です。このため県の水防訓練はもとより、市としても今後この訓練は続けていきたい」と講評を述べ訓練を終了しました。

訓練はもとより、市として今後もこの訓練は続けていきたい」と講評を述べ訓練を終了しました。

消防団のみなさん、大変ご苦労さまでした。

市では7月25日、不順天候による農作物の生育の遅れなどへの対策に万全を期すため、森田市長を本部長とする

『市冷夏克服対策本部』

を設置しました。本部連絡先☎352111番 (市農林課内)



訓練の進行をじっと見守る森田市長 (中央右)



『月の輪工』の土のうダムを設置する消防団員達

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和61年

No.620

8-1

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

毎号とじこんでください。後できつとお役に立ちます。



マデータ 昭和60年夏期（6～8月）の水難事故は、全国で1,702件にのぼり、死者・行方不明者は1,015人。このうち中学生以下の子どもの水死者は316人で、前年同期に比べて13人（4.3%）増えています。

水の事故防止

夏に集中！ 小さな「いのち」を守るろう

太陽の光の中で思いっきり遊びまわれる夏は、チビ子達にとつて最も楽しい季節。

海や山や川に、元気なはしゃぎ声が響きますが、一方この時期は、いろいろな事故の多いシーズンでもあります。

とりわけ、水による事故で、いたいけな「いのち」が失われたというニュースにふれると胸が痛くなります。昭和六十年中の全水死者の約三割が中学生以下の子ども達で、その事故のほとんどが夏休みに集中しています。

保護者がいないと危険率が高まる

子どもの水の犠牲者を統計からみてみますと、次のような特徴があります。

●場所別では河川（百一人）が最も多く、ついで海（八十六人）、用水堀（四十人）、そしてプール（二十八人）の順です。

●どんなときに命を落としているかという点、水泳中

水の恐ろしさを教えよう

子ども、とりわけ三歳～五歳前後の幼児は、水が命を奪う危険なものであることを、体験的に知りませ

ん。水しぶきをみれば、本能的に遊びどころがわいてきて、ヨチヨチ歩きで近づいていきます。ちよつとお母さんが目を離したスキに、とり返しのつかない事態になることが多いのです。

（百二十二人）がいちばん多く、ついで水遊び中（八十七人）、魚釣り（二十五人）、通行中（十六人）と報告されています。

●保護者が同行せずに、子どもだけで行った場合に起きた悲劇が、やはり全体の約七割を占めています。

また、小学生でよく見られる事故に、プールの排水口に足を吸い込まれて水死するというケースがあります。

.....

水遊びをするときは、次のような点にぜひ注意して事故を防ぎましょう。

●子ども達だけで水泳や水遊びに行かないように、ふだんから子どもにも言い聞かせましょう。

●出かけるときは、必ず大人が同行するようにしましょう。

●雨降りのあとは、川や用水が増水します。子ども達を近づけないように特に注意を。

●危険な水辺で遊んでいる子どもを見かけたら、進ん

民生委員を要囑

市では七月九日、市長室で民生委員（厚生大臣が委囑）の委囑状の伝達式を行いました。

これは、中平井町など四地区の同委員が、死亡等によって欠員中であつたのを

担当区域 氏名

| | | | |
|-------|------|------|--------|
| 中平井町 | 高井健藏 | 電話番号 | 34二四五七 |
| 下平井町 | 高杉ふみ | | 35三八一一 |
| 田町 | 水口ヨシ | | 35二二七〇 |
| 米田・吹畑 | 対馬英信 | | 35二〇三五 |

で「危ないからやめなさい」のひと声を。
* *
夏休みが楽しい思い出の日記帳となるように、ぜひお子さん達と「水の恐ろしさ」について話しあつていただきたいものです。

補充したものです。
なお、民生委員は児童委員の職も兼ねることになっています。

今回委囑されたのは次のとおり。（敬称略）



主唱 通産省
電気使用安全月間
8月1日～31日
(財)東北電気保安協会

本市を訪れる選手、役員 を歓迎しよう!!

—本市で第41回県民体育大会—

第41回県民体育大会が、今月本市を主会場に開かれます。

同大会には、県内全市町村から選手、役員、観客など1万人余のお客様が訪れます。市民のみならず、暖かく迎えてこの大会を成功させましょう。

日程などは次のとおりです。 (8月)

| 種目 | 等期 | 日 | 会場 |
|------------|------------------------|-------|----------------------|
| 開会式 | 23日 | 午前10時 | 市営球場(雨天時は市民文化会館) |
| 陸上競技 | 23・24日 | | 勤労者体育センター(飯詰) |
| 軟式野球 | 9・10日(市) 23・24日(町村) | | 市営球場 北斗グラウンド |
| バレーボール | 23・24日 | | 五一中、五四中 五工高、五商高 |
| 卓球 | 23日 | | 市民体育館 |
| 剣道 | 24日 | | 五所高 |
| 相撲 | 23日 | | 市営相撲場 |
| ソフトボール | 23・24日 | | 五一中、五所高 |
| バスケットボール | 23・24日 | | 鶴田中、鶴田町勤労者 体育センター |
| 柔道 | 24日 | | 市民体育館 |
| バトミントン | 23・24日 | | 五農高 |
| 水泳 | 23・24日 | | 五一中、中央小 |
| ウェイトリフティング | 24日 | | 五工高 |
| 軟式庭球 | 23日 | | 県総合運動公園庭球場 (青森市) |
| ボウリング | 23・24日 | | 青森ボウリング センター(青森市) |
| ゲートボール | 23日(市・村) 24日(町) | | 市営ゲートボール場 (市庁舎裏) |
| 閉会式 | 24日 | 午後4時 | 市民文化会館 |



森田市長に目録を手渡される藤村東北電力五所川原営業所長(左)

東北電力(株)五所川原営業所では七月九日、藤村義男所長と福田武園営業課長が

明るい街づくりと防犯灯の基

市役所を訪れ、明るい街づくりに役立ててくださいと今年も「防犯灯五基」を寄贈、森田市長に目録を手渡されました。

これは、九日から始まった東北電力グループのサービスク間の多彩な行事の一つとして行われたものです。

市では、防犯灯の設置箇所を調査のうえ設置することとしています。



ねぶた囃子講習会

正調の囃子で成長を

—ねぶた囃子講習会を開く—

市観光協会(三上理会長)主催の「正調ねぶた囃子」の講習会が七月十四日から五日間、産経会館で開かれ市民から好評を得ました。

これは、従来何種類もあった五所川原のねぶた囃子を「五所川原本来のねぶた囃子」に統一しようという気運が高まり、五十九年から始められたもの。

会場には、子どもからお年寄りまでの祭好き、笛好き約四十人が集まり、笛が平山雄一さん、後藤悦三郎さん、堀内芳雄さんの三人を、太鼓が藤田一二三さんをそれぞれ講師に懸命に練習していました。

市観光協会では、「正調」ねぶた囃子で五所川原の観光の一つであるねぶたを大きく「成長」させようという意欲を燃やしています。

五所川原虫と火まつり行事

| 日(曜) | 時間 | 行 事 | 場 所 |
|---------|------------------------------------|--|---|
| 8月1日(金) | 午後6時30分 午後9時 | 夜の歩行者天国 夜店まつり | 大町路上 |
| 2日(土) | 午後6時30分 午後9時 | 夜の歩行者天国 夜店まつり | 大町路上 |
| 4日(月) | 午前10時 午前10時30分 午後6時 | 市内音楽行進 第13回西北五 民俗芸能大会 げんと忌 虫おくり火まつり 花火大会 | 市内一円 市民文化会館 フラワーセンター げんと碑前 岩木川原 岩木川原 |
| 5日(火) | 午前9時 午後6時 午後7時 | 虫おくり 神明宮本町夜祭 (青宮) ねぶた運行 | 市内一円 飯宮(青銀構内) 市内一円 |
| 6日(水) | 午前9時 午前10時 午後2時 午後7時 | ながしおどり 神明宮本町例祭 県下 登山ばやし大会 ねぶた運行 | 市内一円 飯宮(青銀構内) 市役所前広場 市内一円 |
| 7日(木) | 午前8時 午前8時30分 午前9時 午前9時30分 | 東北・北海道 馬力大会 西北五小・中学校 相撲大会 西北五銃剣道大会 市民ゲートボール 大会(老人クラブ) ねぶた運行 | 岩木川原 菊ヶ丘運動公園 市営相撲場 市役所前広場 岩木川原 市内一円 |

市政懇談会にどうぞ

8月21日から地区ごとに開きます

市では、八月二十一日から各地区ごとに「市政懇談会」を開きます。

市政懇談会は市民から直接、地域の問題点や要望、意見などを聴き、それをで

きるだけ市政に反映させていこうと開いているもので、どなたでも出席できます。

多くの方々の出席をお願いたします。

| 月日(曜日) | 時 間 | 場 所 | 対象地区 |
|----------|-------|-----------------|---------|
| 8月21日(木) | 午前10時 | 毘沙門長富コミュニティセンター | 毘沙門長富地区 |
| 22日(金) | 午前10時 | 梅沢コミュニティセンター | 梅沢地区 |
| 25日(月) | 午前10時 | コミュニティセンター | 中川地区 |
| 26日(火) | 午前10時 | コミュニティセンター | 長橋地区 |
| 29日(金) | 午前10時 | コミュニティセンター | 飯詰地区 |
| 30日(土) | 午前10時 | コミュニティセンター | 栄地区 |
| 9月1日(日) | 午前10時 | コミュニティセンター | 三好地区 |
| 2日(火) | 午前10時 | コミュニティセンター | 松島地区 |
| 4日(木) | 午前10時 | コミュニティセンター | 七和地区 |
| 5日(金) | 午前10時 | 農村婦人の家 | 小曲地区 |
| 8日(月) | 午前10時 | 市民文化会館 | 五所川原地区 |

犯罪や非行のない明るい街に

市民集会開く

市民文化会館で七月九日、
「社会を明るくする運動」
市民集会が開かれました。



これは、市保護司会が主催したもので、更生保護婦人会、BBS会などや五所南小、中央小、五一中、五商高の鼓笛隊、プラスバンドなど合わせて約八百人が参加。実施委員長の森田市長が「市民のみなさん、犯罪や非行のない明るい街を築くために頑張りましょう」とあいさつ。

引き続き、中央小六年の野上貢智紀さんと五一中一年の藤森達也さんが「私達の学校では、毎日あいさつをかわす運動をしている。明るくあいさつのできる人

になりましょう」と、また五工高二年の大谷恵理子さんが「悪い社会環境にも負けない勇気とたくましさを持つ」とそれぞれ「私の提言」を述べました。

最後にBBS会の小笠原敏雄さん、伊藤弘子さんの二人が「犯罪のない明るい街を築くために、市民みんなが努力することを誓う」と非行防止宣言を読み上げ同集会を終わりました。

大正、昭和の五所川原を尋ねる

歴史民俗資料館で「郷土の新聞展」

戦前戦後を通じ五所川原で発行された新聞は、確認されているものだけでも、二十余種にのぼります。

市歴史民俗資料館では現在、これらの新聞の展示を行っており多くの市民が訪れています。

これは故新谷常吉氏、故辻三郎氏が収



ちなみに、昭和七年に発行の「西北新報」の記事の中には、岩木川改修所員のポーナスが三十割にハネ上がり、地方サラリー階級羨望の的となっており、街の

酒場で改修の人とみればサーピスガールがモーションをかける」など、当時の五所川原の状況をかきまわることができそうです。

この展示は九月二十八日まで行っています。新聞を通して大正、昭和の五所川原を考える良い機会です。ごらんになってみてはいかがでしょうか。



200人が健脚競う

第2回五所川原マラソン

元気にスタートを切る参加者達

市教育委員会では七月五日、北斗グラウンドで「第2回五所川原マラソン」を開きました。同マラソンは、スポーツを通して市民の体力増進を図ろうと小学五年以上の市民を参加対象に開いているもので、男女

合わせて約二百人が参加。開会式では、船水良昭教育次長が「すべてのスポーツの基本は走ることです。この大会を契機に五所川原のマラソンが年々盛んになるよう期待しています」とあいさつを述べました。

この後競技に入り、小学男女がグラウンド一周の一キロ、中学男女と高校・一般女子が北斗グラウンドから元町浄水場付近を折り返しの三キロ、高校・一般男子はそれを二周する六キロの三種目に熱戦が展

- 開されました。
- この日は、前日までの肌寒い天気とはうって変わって気温二十二度と絶好のマラソン日和となり、途中棄権者もなく全員完走しました。
- 上位入賞者は次のとおり。
- (敬称略)
- 小学男子** ①小田桐吉宏(松島小6 2分57秒99)
- ②関貴幸(梅泉小6)
- ③伊藤孝志(野里小6)
- 小学女子** ①小野忍(飯詰小6 3分03秒56)
- ②三浦菜里子(飯詰小5)



- ③須藤綾子(五小6)
- 中学男女、高校・一般女子**
- ①小田桐安志(五一中3 9分01秒67)
- ②三浦修彰(五四中2)
- ③佐藤哲也(五一中一)
- 高校・一般男子** ①葛西昭憲(一般 20分17秒46)
- ②工藤清(一般)
- ③高橋喬(一般)



「狙いを付けて…」
一生懸命プレーする選手のみなさん

90歳を筆頭に200人がプレー

老人クラブ対抗ゲートボール大会

市では七月三日、狼野長根公園にある勤労者野外活動施設ゲートボール場で「市内老人クラブ対抗ゲートボール大会」を開きました。

同大会は、老人クラブ会員の親睦と健康の増進を図ることを

目的に、市観光協会と市老人クラブ連合会の後援を得て開いているもので、今年で五回目。参加チームは二十六チーム。最高齢九十歳の石崎石松さん(梅田)をはじめ約二百人が参加しました。

開会式では、森田市長と葛西専造市老連会長が「この大会を契機に、熟年の親睦の輪を市全体に広げてください」とそれぞれあいさ

つを述べました。

この後試合が開始され、各チームの選手はそれぞれ日頃の練習の成果を十分に発揮、また名プレー、珍プレーに歓声を上げていました。

本市では、市老連ゲートボール部会男子チームが、去る四月の全国大会で堂々第三位に入賞し、全国にその名を知られたらせました。さらに、今月本市を主催

- 場に開かれる県民体育大会でも、ゲートボールがオープン競技として認められたことから、ゲートボールに対する市民の関心は大きく盛り上がりを見せています。
- 入賞チームは次のとおり。
- 一位 鎌谷町チーム
- 二位 梅田チーム
- 三位 高野Aチーム、高野Bチーム

8月は
市県民税 第2期
健康保険税 第2期
の納期です。(市収納課)



消火器の悪質な
訪問販売に注意を!

市商工観光課 (市内線260番)

図書館コーナー

●このほど、飛鳥のぶさん(前田野目)から「風俗画大成」(国書刊行会)など全18巻(18万5千円相当)の新刊寄贈が、また木村龍鷹さん(新町)から「日本海」(水上勉著)など136冊の献本がそれぞれありました。大変ありがとうございます。

飛鳥さんは去る6月12日、「第37回北日本図書館大会」で県図書館連絡協議会長から、図書館図書の充実に対する功労が認められ表彰されました。

●新しく次の五つの読書会が結成されました。

コミセン七和読書会(阿部円太郎代表) 梅田読書会(林賢行代表)、津鉄読書会(内山敏夫代表)、誠読書会(中井整形外科・一戸辰四郎代表)、なかよし読書会(さつき町・木村カチ代表)

市読書団体連絡協議会(高橋謙治会長)では、8月23日に小泊村で研修会を開きます。会員の参加をお願いします。

●図書館では、本年度も児童図書の充実を図るため新刊500冊を購入しました。どうぞご利用ください。

昭和61年度 市合同金婚式

対象ご夫婦は お申し込みを!

今年も、めでたく結婚50年を迎えられた長寿ご夫婦を心からお祝いするため、合同金婚式を行います。

▷対象夫婦 婚姻届以来50年(昭和11年届出)を経過したご夫婦 確認のため、戸籍抄本が必要です。

▷申し込み締切 8月20日(日) 日時、場所については、追ってお知らせします。お申し込みは、市福祉事務所(☎内線210番)へどうぞ。

市役所の電話番号は352111番

特別一時金が支給されます

年金制度が改正され、基礎年金の導入により「一人一年金制」が確立されました。

追納したときにおいても、将来老齢基礎年金を併せて支給することができないことになりました。

このため、厚生年金などの障害年金受給者が国民年金に任意加入していたとき

と、従来の国民年金の障害福祉年金などの受給者が国民年金の受給資格期間を満たしたとき、将来とも障害の程度

きるの、老齢年金などの支給資格期間を満たしたとき、将来とも障害の程度

が減退しないことが条件となります。なお一度この特別一時金を受けると、今後の年金額の期間計算に生かれませんので注意が必要です。またすでに障害年金の受給権が消滅しているときと老齢年金の請求をしているとき、および拠出制の障害年金や母子年金などを受けたいことがあるときには特別一時金の請求権がありません。これらの手続きや詳しいことは市保険年金課(☎内線二六五番)へ。

近世古文書解説講習会

- ▷日時 8月24日(日)午前9時～午後4時
- ▷場所 市中央公民館
- ▷定員 50人(先着順)
- ▷受講料 無料
- ▷テキスト代 500円(申し込みと同時に納入)
- ▷講師 貝森格正(県文化財保護協会常任理事) 福井雄三(同)豊島勝蔵(市文化財審議委員)
- ▷申し込み先 市教育委員会 社会教育課(☎内線250番)
- 主催 県文化財保護協会、県立図書館、市教育委員会

講演会

- ▷日時 8月11日(日)午後1時
- ▷場所 働く婦人の家
- ▷講師 小館衷三氏(東北女子大学助教授)
- ▷演題 津軽氏の統一(為信～戦国時代)
- ▷入場料 無料
- 主催 市統計協会(事務局 市秘書企画課 ☎内線318・319番)

若者よ限りなく熱くなれ 第1回青年のフェスティバル

昨年、西北五から県青年の船に参加した若者達が、そこで得た体験と若い力で青年のフェスティバルを開きます。

津軽のじょっぱり根性を發揮して開くこのフェスティバルのテーマは『若者よ限りなく熱くなれ』 西北五の多くの若者達の参加を待っています。

- ▷日時 8月10日午前10時～午後6時
- ▷場所 市中央公民館
- ▷内容 交流会、郷土芸能、演劇、バンド演奏、ジャズダンス、各市町村の特産物展、サークル・クラブの発表、青年の船のPR。詳しいことは、五所川原市中央公民館(☎356056番)へお問い合わせください。

主催 県青年の船の会西北五プロックフェスティバル実行委員会

市民のみなさん

『燃えるゴミ』『燃えないゴミ』をよくわけて!!

燃えるゴミ

- 紙くず、新聞、雑誌、靴、ボロくず、残飯等も含む家庭厨芥類(水切十分なもの)。
- 木、竹、わら工品等及び畑から出る草、キミ殻等はよく乾燥したもので、50cm位に切断したもの。

燃えないゴミ

- 空カン、空ビン、ガラスくず、蛍光管、電気釜、ゴム、ビニール製品、プラスチック製品。(ゴム、ビニール、プラスチック製品は燃えますが、大気汚染の原因となるため)

粗大ゴミ

- 大型電化製品、タタミ、タンス等、自転車、厨房用具等。

市では現在、粗大ゴミの収集はしていません。自ら埋立地等に処理されるか、ゴミ収集業者に依頼して処分をお願いします。※燃えないゴミと粗大ゴミの埋立地 野里不燃物埋立地(市内野里字山越25の1)

市役所の電話番号は 35 2 1 1 1 番

『青函トンネル博』のシンボル マークとマスコットマーク募集!

青函博が広く理解され、親しまれ県民総ぐるみで参加できるような、ふさわしいシンボルマークとマスコットマークを募集します。

▷募集内容
シンボルマーク部門：発展する青森県の姿と「青函トンネル開通記念博覧会」を象徴するもの。

マスコットマーク部門：「青函トンネル開通記念博覧会」にふさわしく、子どもから大人まで親しめる明るいマスコット。

応募条件 シンボル・マスコット共通

▷応募資格 制限はありません。また、1人何点でも、両部門にも応募できます。

▷作品 自作で未発表のものに限ります。

▷応募方法と規格 シンボル・マスコット共通

①用紙は、B5判(18.2cm×25.7cm)の白いケント紙とし、1枚につき1点のみ記載。

②図案の裏面に図案の説明、意図、住所、氏名、年齢、性別、職業、勤務先(又は学校名、学年)、連絡先の電話番号を記入。

③図案の右上すみ、送付する封筒の表面に応募する部門の別(シンボルかマスコットか)を明記。複数同封の場合は、明確に判別できるように個々に②、③の件を記入。

④送付に際しては汚損、折りまげなどのないように配慮してください。

▷応募締切 8月31日(当日消印有効)

▷応募作品の送付先・問い合わせ先 青函トンネル開通記念博覧会事務局(☎0177344511番 ☎030 青森市安方1丁目1-40 青森県観光物産館6F)

年金住宅融資

(2回次)

▷対象 厚生年金保険(船員保険を含む)に三年以上加入している被保険者

で、住宅の新築、購入、住宅改良などを行う人。

住宅の居住面積 新築・購入は一八〇平方メートル以上。住宅改良は四〇平方メートル以上。

▷融資額 最高一千万円まで。(公的資金の比率は所要資金の八割以内)

▷利率 年五・七五割(大型住宅は年五・九五割)

▷返済期間 十年から三十年まで。(住宅改良は五年又は十年、半年賦元金均等返済方式で毎月返済)

▷返済期間 十年から三十年まで。(住宅改良は五年又は十年、半年賦元金均等返済方式で毎月返済)

▷返済方法 元利均等返済方式で毎月返済

▷受付 九月三十日まで(予定)

▷申込先 県厚生年金勤労者住宅協会又は年金福祉事業団受託金融機関

▷申し込み・問い合わせ先 住宅金融公庫受託金融機関

▷金利労働者住宅協会(☎0177344511番)へどうぞ。



技能検定試験

- ▷実施職種 さく井、鉄工、工場板金など33職種。
- ▷受検料 学科試験 全職種一律 2,300円。
- 実技試験 1・2級とも 7,500~12,500円。
- ▷実施日 学科試験 昭和62年2月8・15・22日のいずれか指定する日曜日。
- 実技試験 11月29日から昭和62年2月23日までの指定する日。
- ▷申込締切 10月17日。
- ▷その他 詳しいことは、青森県職業能力開発協会(☎0177385561番 ☎030-01 青森市大字野尻字今田43の1)へ。

設備資金に 環境公庫融資のご利用を!!

環境衛生金融公庫では、国民の生活と関係の深い飲食・理容・美容・旅館・クリーニング等の環境衛生関係営業の方々が、衛生面の向上・経営の近代化を図るため、お店の新・増・改築や器具・備品の購入などに必要な設備資金を、ご融資しています。

融資条件(概略)は次の通りです。

【一般貸付】

- ①融資限度額⇒業種により4千万円以内~1億円以内
- ②利率⇒基準利率年 6.4%
- ③融資期間⇒10年以内。

【例外】特例貸付等13年以内。

浴場業20年以内。

詳しいことは、環境衛生金融公庫(☎03-582-5416番)、または民間金融機関へどうぞ。

花と緑のコンクール 標語・作文・論文の募集

花と緑いっぱい運動に対する理解と参加を高める標語等を募集ノ

▷実施方法 標語 運動に理解と関心を高めることをねらいとしたもの。

作文・論文 題は自由。運動に対する感想・意見・構想・生活記録的な内容とします。

▷応募対象 標語、作文・論文のいずれも小学生以上。

▷応募方法 ①作品には学校名(勤務先・住所)学年、氏名を明記。②作文は400字詰原稿用紙3枚以内、論文は同5枚以内、標語はハガキか原稿用紙に書いてください。③応募作品は返却しません。

▷応募締切 9月5日

詳しいことや応募は、青森県新生活協議会(青森市新町2の3の1 県社会教育課内 ☎0177221111番 内線5193番)へどうぞ。主催 県新生活協議会

市役所の電話番号は(35)2111番

健康コーナー

『愛の献血』お願いします

| | | | | |
|------------------------|--------|---|-------------------|---|
| 日 | 午 | 前 | 午 | 後 |
| 8月5日(火) | 10時~正午 | | 1時~3時30分 | |
| マルチモデパート駐車場 | | | | |
| 8月26日(火) | 10時~正午 | | 1時30分~4時 | |
| 特別養護老人ホーム 青山荘前 (金山) | | | マルカカサイ駐車場 (本町) | |

みんなの健康教室

- ▷日時 8月22日(金) 午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷講師 佐藤 実先生
(佐藤内科小児科医院長)
- ▷テーマ 「心臓病がふえている」
- 主催 北五医師会 市民保健協議会

リハビリ看護教室

脳卒中患者さんを看護している家族のみなさん、家庭でできる理学療法、看護法について一緒に勉強してみませんか。

- 日時 9月2日(火)~3日(水) 午前9時30分~午後3時30分
- 場所 市保健センター
- 内容 ①家庭看護法 ②理学療法(理学療法士による)
- 対象 在宅脳卒中患者さんとその家族、およびリハビリ看護に深い関心をおもちの方。
- 定員 20人(先着順)
- 料金 無料です。
- 申し込み期間 8月1日~20日
- 申し込み先 市衛生課
(☎内線268番)
- その他 昼食持参。
活動しやすい服装で。

休日・夜間の急病は

在宅医師の紹介は消防署へ

35-2019番

(救急医療部会)



マイルドセブン一箱(二二〇〇円)につき、四一円四〇銭がたばこ消費税として市の収入になります。

買いますよう

たばこは、市内から

緑のオーナー(分収育林)募集

緑のオーナーは、植栽してから35年経過した杉を共同で育て、20年後に立木販売してその収益を分配する制度です。

- ▷1口当たり 50万円(何口でも申し込み可)詳しいことは、金木営林署(☎533115番)へお問い合わせください。

ミニドックを受けよう!

市では、40歳以上の市民を対象に成人病の早期発見、早期治療を目的としたミニドックを実施いたします。対象となる人は積極的に受けるようにしてください。

- ▷実施期間 8月1日(金)から9月30日(金)まで
- ▷実施時間 医療機関によって実施時間が違いますので申し込み時にお知らせいたします。
- ▷受診方法 受診を希望する人は市衛生課窓口で、受診記録票の交付を受け、希望する医療機関で受診してください。
- ▷受診料 1,000円(申し込み時)。ただし70歳以上の方、生活保護世帯、市民税非課税世帯の方は無料(申し込みの際証明書を提出してください)。
- ▷診査項目 診察、身体測定、心電図、尿検査、貧血検査、肝機能検査
- ▷問い合わせ先 市衛生課(内線272番)
- ◆実施医療機関◆

| | |
|-----------|-------------|
| 小笠原内科医院 | 白生会胃腸病院 |
| 兼平内科小児科医院 | 佐々木医院 |
| 川崎胃腸科内科医院 | 佐藤内科小児科医院 |
| 富田胃腸科内科医院 | 佐藤仁外科胃腸科医院 |
| 西北中央病院 | 荘司内科医院 |
| 木村内科医院 | 白戸胃腸科外科医院 |
| 田辺胃腸科外科医院 | 森田診療所 |
| 対馬内科小児科医院 | 三好診療所 |
| 中村内科医院 | 森内科小児科医院 |
| 増田病院 | 江渡医院 |
| 復明堂医院 | 健生病院五所川原診療所 |

短

歌

隣り家の建ちゆく音を聞きながら病み臥す春のひとは長し 浜山 てい
よみ返り来る回想の断片をねむりがたき夜半 浜田 ちか
老いて哀しむ 濱田 ちか
陽に透きて花片ゆるる花菖蒲湿原に初夏の風 番場 允映
わたる時
朝光に紫陽花の露きらめきて降り立つ庭に郭公の声 鈴木 宗美
善根を我が思ひつつ賜はりし矢車草咲く梅雨寒の中 蝦名チヨノ

五所川原短歌会